

お知らせ

 岡山県立博物館	
担 当 者	内池
電話番号	内線：5015 直通：086-272-1178

岡山県立博物館 令和8年度特別展

「宇喜多直家と秀家 ライバルとしてのぎを削ったサムライたち」を開催します！

岡山県立博物館では、令和8年9月18日（金）より、令和8年度特別展「宇喜多直家と秀家 ライバルとしてのぎを削ったサムライたち」を開催します。

宇喜多直家は浦上氏の家臣でしたが、1575年に浦上宗景を領国から追い出し、備前・美作のほとんどを手中に収めます。直家は拠点を岡山城へと移し、戦国時代を代表する武将として名を馳せます。

直家の跡を継いだ宇喜多秀家は、羽柴（豊臣）秀吉の支持を得ることで勢力を拡大し、秀吉の天下統一後は、五大老の1人として、豊臣政権のもとで重要な役割を果たします。なお、秀家の「秀」は、秀吉の名前から取られたものです。

1600年の関ヶ原の戦いの際、秀家は西軍として徳川家康率いる東軍と戦います。この時敗れた西軍の武将は、領地を没収されたり、移されたりして勢力を減らされます。秀家も領地を没収された上で、八丈島に流され、その地で亡くなりました（享年84歳）。

このたびの展覧会では、備中三村氏や備前浦上氏をはじめ、宇喜多氏のライバルとしてのぎを削った武将たちの書状や刀剣類などを展示し、岡山を代表する戦国武将、宇喜多直家と秀家の一生をご紹介します。ぜひ取材にお越しください。

記

- 1 会 期 令和8年9月18日（金）～11月23日（月・祝）
- 2 開館時間 <～9/30> 午前9時～午後6時
<10/1～> 午前9時30分～午後5時
- 3 休 館 日 9月24日（木）・28日（月）
10月5日（月）・13日（月）・19日（月）・26日（月）
11月2日（月）・9日（月）・16日（月）
- 4 入 館 料 大人460円、65歳以上230円、高校生以下無料
※10月15日（木）はカルチャーゾーンの日、11月3日（火・祝）はおかやま教育の日のため、入館料無料

5 主な展示品 別添資料のとおり

6 関連行事 【記念講演会】「本多政重から見た宇喜多氏」

日時：10月4日（日） 午後1時30分～午後3時

講師：本多 俊彦 氏（金沢学院大学教授）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：120名（事前申込必要、先着順、聴講無料、別途入館料必要）

【映像×コンサート】「戦国未来協奏曲 宇喜多秀家によせて」

日時：10月18日（日） ①午前11時～ ②午後2時～

演奏者：薮井 佑介 氏

（5次元キーボード&最先端電子楽器パフォーマー）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：各回80名（事前申込必要、先着順、参加無料、別途入館料必要）

<申込方法>

「電子申請サービス」または「FAX」のいずれかの方法で、必要事項（氏名・ふりがな・電話番号・希望するイベント名・希望する時間を記入して申し込む。

FAX：086-272-1150



電子申請サービス

【甲冑着付け体験】

日時：9月26日（土）、10月31日（土）

いずれも午後1時～3時

会場：岡山県立博物館 2階ホール（事前申込不要、入館料必要）

【学芸員による展示解説】

日時：9月19日（土）

10月3日（土）・24日（土）

11月7日（土）・21日（土）

いずれも午後2時～3時

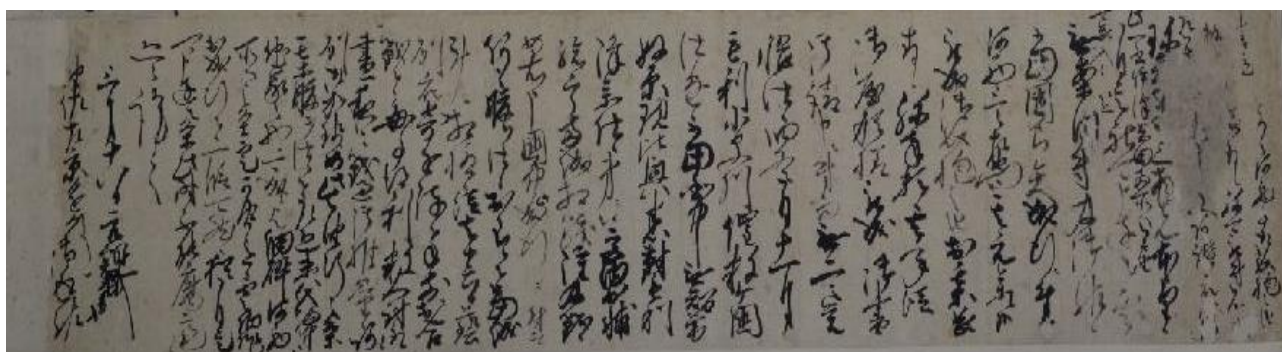
会場：岡山県立博物館 2階展示室（事前申込不要、入館料必要）

7 その他

開会式を9月18日（金）午前9時30分より、2階ホールで開催します。

特別展の詳細については、別添特別展チラシ及び岡山県立博物館HPをご覧ください。

令和8年度特別展「宇喜多直家・秀家」主な出品資料

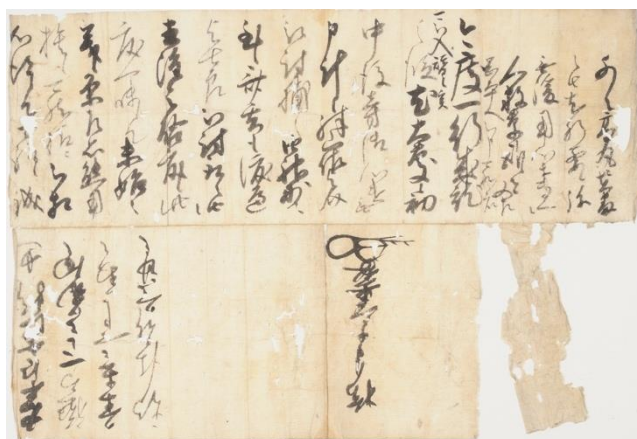


^{みむらもとちかしよじょう}
○三村元親書状 天正3(1575)年3月18日 高松市香南歴史民俗郷土館蔵

高松市指定重要文化財

この書状は、宇喜多直家のライバルとして活躍した三村元親が書いたものです。

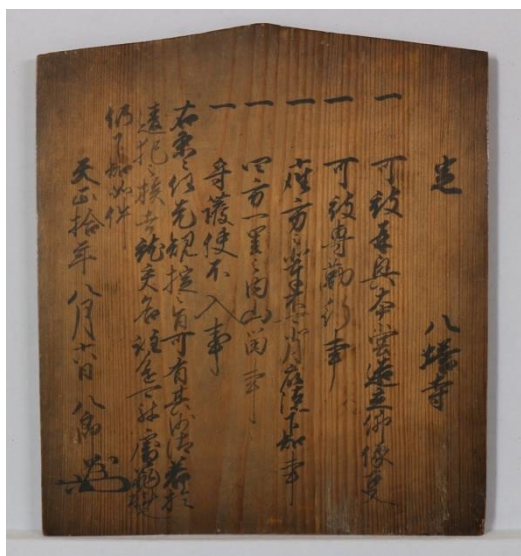
天正2(1574)年に毛利氏から離脱した三村氏に対して、毛利氏は三村氏の支配地に攻め込みました。備中兵乱とも呼ばれる戦いの中、三村元親が備中松山城に籠城しつつも、讃岐の由佐氏に対して援軍を要請したものです。文面からは、由佐氏から援軍がきたら、毛利氏勢力を備中から一掃するという勇ましい元親の気持ちを読み取ることができます。



^{うきたなおいえしよじょう}
○宇喜多直家書状 天正8(1580)年10月

個人蔵

宇喜多直家が、1580年に美作にいた家臣に出した書状です。文中からは、県北の城を取り囲むために出陣している家臣に対して、直家が感謝していることがわかります。現在、確認されている中で、最後に直家が出した書状になります。



^{はちろうせいさつ}
○八郎制札 天正10(1582)年8月6日

備前市教育委員会蔵 備前市指定重要文化財

宇喜多秀家（八郎）が八塔寺に出した制札です。制札とは、武将が寺などに対して、軍隊が乱暴などをしないと約束した札のことです。

この直前に、秀家の父直家が亡くなっています。跡を継いだばかりの秀家が、領内に出した最初期の資料になります。

たんとう めい らいくにつぐ とりかいらいくにつぐ
○短刀 銘 来国次（名物 鳥飼来国次）鎌倉時代（14 世紀）

（公財）黒川古文化研究所蔵

豊臣秀吉から宇喜多秀家が拝領し、関ヶ原の戦いで宇喜多秀家が所持していたとされる短刀です。秀家家臣の進藤正次が、主君を殺してこの短刀を奪ったと徳川方に偽りの報告をして、秀家を西国に逃したとも言われています。県内初公開。



いろいろおどしにまいどうぐそく
○色々威二枚胴具足 江戸時代 加賀本多博物館蔵、石川県指定文化財



関ヶ原の戦いの前に、新たに加わった家臣が本多政重（本多正信次男、当時は正木左兵衛と名乗る）でした。江戸時代には、加賀前田家の筆頭家老になりました。

この甲冑は、本多政重が関ヶ原合戦で着用したと伝わっています。この他、本多家には宇喜多秀家のもとで関ヶ原の戦いに参加したと明記された家譜や、政重の肖像画等が残っています。県内初公開。

くろうるしぬりきりもんまきえてつごまいどうぐそく
○黒漆塗桐紋蒔絵鉄五枚胴具足 江戸時代 個人蔵

宇喜多秀家が所用していたと伝わる甲冑です。豊臣氏の家紋・桐紋が数多くあしらわれ、あわせて前立てには宇喜多氏の家紋の1つであるカタバミが付けられています。

甲冑の入っていた箱には、「児」と書いてあり、裏蓋には秀家娘が結婚した時に持参したと書いてありました。



令和8年度特別展

宇喜多直家と秀家

ライバルとしてのぎを削ったサムライたち



宇喜多秀家花押
岡山県立博物館蔵



黒漆塗桐紋蒔絵鉄五枚胴具足
(伝宇喜多秀家所用)
個人蔵



色々威二枚胴具足
(石川県指定文化財)
(本多政重所用)
加賀本多博物館蔵



宇喜多直家花押
岡山県立博物館蔵

2026

9.18 [金] - 11.23 [月・祝]

前期 | 9月18日(金)~10月18日(日) 後期 | 10月20日(火)~11月23日(月・祝)

※前後期で一部展示品が変わります。

開館時間 | 午前9時~午後6時(9月30日まで)※9月18日のみ、10時開館
午前9時30分~午後5時(10月1日から)

休館日 | 9月24日(木)・28日(月) 10月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月) 11月2日(月)・9日(月)・16日(月)

入館料 | 大人460円 65歳以上230円 高校生以下無料

主催 | 岡山県教育委員会、岡山県立博物館 共催 | 山陽新聞社、RSK山陽放送

後援 | OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、oniビジョン、NHK岡山放送局、(公財)岡山県郷土文化財団

特別協力 | (一財)正宗文庫、加賀本多博物館



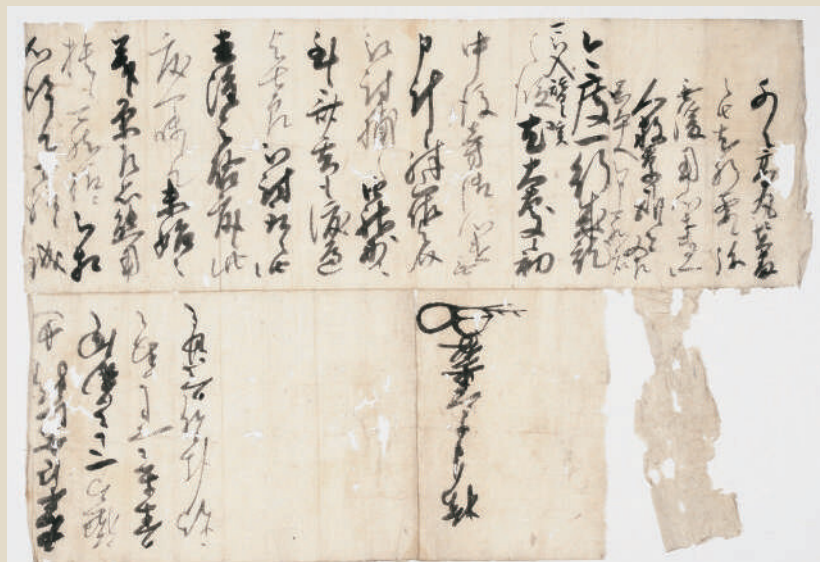
岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum

薙刀 銘 備前国住長船次郎左衛門尉藤原勝光同与三左衛門尉祐定為宇喜多和泉守三宅朝臣能家作之 個人蔵 撮像 中村慧氏

宇喜多直家は浦上氏の家臣でしたが、1575年に仕えていた浦上宗景を領国から追放し、備前・美作のほとんどを手中に収めます。直家は拠点を岡山城へと移し、戦国時代の岡山を代表する武将として名を馳せます。

直家の跡を継いだ宇喜多秀家は、羽柴(豊臣)秀吉の支持を得ることで勢力を拡大し、秀吉の天下統一後は、五大老の一人として、豊臣政権のもとで重要な役割を果たします。1600年の関ヶ原の戦いで西軍につき敗れた秀家は、徳川家康に領地を没収されます。その後、流された八丈島で50年近く暮らし、84歳で亡くなりました。

このたびの展覧会では、これまで知られていた代表的なものに加え、新出資料を紹介し、岡山を代表する戦国武将、宇喜多直家と秀家、そして彼らとしのぎを削ったライバルたちゆかりの文化財を一堂に展観します。



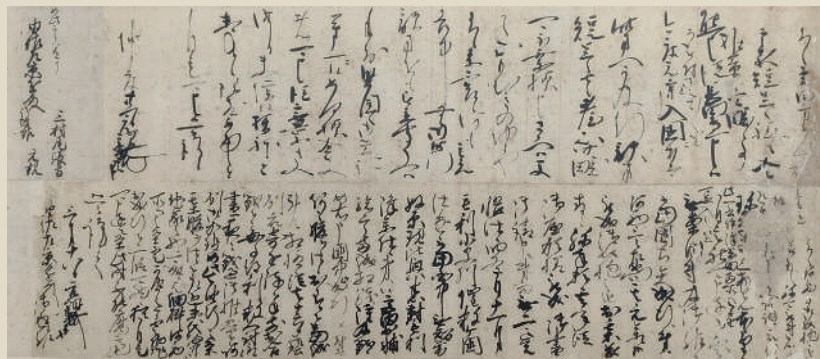
宇喜多直家書状 個人蔵



豊臣秀吉像(部分) 岡山市大光寺蔵



宇喜多能家像(部分、重要文化財) 岡山県立博物館蔵



三村元親書状(高松市指定重要文化財) 高松市香南歴史民俗郷土館蔵



短刀 銘 来国次(名物 鳥飼来国次 宇喜多秀家所用) (公財)黒川古文化研究所蔵

関連イベント ※最新情報はHPをご覧ください。

①記念講演会

「本多政重から見た宇喜多氏」

日 時:10月4日(日)

午後1時30分～3時

場 所:岡山県立博物館講堂

講 師:本多俊彦氏(金沢学院大学教授)

定 員:120人(先着順)

その他:事前申込必要、聴講無料

②映像×コンサート

「戦国未来協奏曲 宇喜多秀家によせて」

日 時:10月18日(日)

午前11時～、午後2時～

場 所:岡山県立博物館講堂

演奏者:荻井佑介氏

(5次元キーボード&最先端電子楽器
パフォーマー)

定 員:各回80人(先着順)

その他:事前申込必要、参加無料

③甲冑着付け体験

日 時:9月26日(土)、10月31日(土)

いずれも午後1時～3時

場 所:岡山県立博物館2階ホール

④学芸員による展示解説

日 時:9月19日(土)、

10月3日(土)、24日(土)、

11月7日(土)、21日(土)

いずれも午後2時～3時

場 所:岡山県立博物館2階展示室

③、④は体験及び参加無料、入館料は必要

■イベント申込方法(①・②)

「岡山県電子申請サービス」「FAX」のいずれかの方法で、必要事項①氏名・②よみがな・③電話番号・④希望するイベント名・⑤②のイベントは希望する時間)をご記入の上、「特別展イベント担当」までお申し込みください。

FAX.086-272-1150

※最新情報は当館ホームページ等をご覧ください。



岡山県電子申請サービス



■交通のご案内 JR岡山駅 後楽園口(東口)から

●徒歩(約25分)

●路面電車(約5分)【東山行】「城下」下車 徒歩(約10分)

●バス(JR岡山駅バスターミナル1番のりば)

岡電バス【藤原団地行】(約20分)「後楽園前」下車すぐ

宇野バス【後楽園バス】(約10分)「岡山後楽園」下車すぐ

●お車でお越しの場合
山陽道岡山インターより約15分(後楽園駐車場をご利用ください。40分につき100円)



岡山県立博物館

Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号

TEL 086-272-1149(代表) FAX 086-272-1150

<https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/>

